

# 経営サプリメント

各方面の専門家によるビジネスに役立つエッセンス

## テレワークははじめの一歩 ～もう他人事ではられない～

新型コロナウイルスの猛威は世界を一変させました。

働き方改革の切り札の一つだったテレワーク導入やペーパーレス化が加速していますが、

それを「大企業が取り組む他人事」として見ないふりをしていませんか？

むしろ、フットワークの軽い中小企業だからこそできる改革があるのではないのでしょうか。

そこで、コロナ禍で特に求められているテレワーク導入について、少し考えてみましょう。

### テレワークの形

テレワークとは、情報通信機器等を活用し、時間や場所にとらわれず柔軟に働く形態のこと。テレワークには様々な形があるのですが、ここでは3つに分類の上、それぞれに必要なものに向いている職種をまとめてみました。



	必要となるもの	向いてる職業
在宅型	仕事に使うパソコンやプリンター等の機器類。通信環境	内勤型の成果物が重視される仕事。事務職、デザイナー、ライター、システムエンジニア、Webエンジニア、カスタマーサポートなど。
モバイル型	スマホやタブレット等のモバイルデバイス。通信環境	外回りがある営業職、配達業。移動時間をモバイルワークに充てることで効率化。また営業活動にテレビ会議を活用することで在宅化も可能。
リモート型	場所と機器類等、本社に相当する環境	本社同様の機能である為職種は選ばない前提だが、そこで働くことが向いているかどうかは社員の置かれている状況による。



秋田県よろず支援拠点コーディネーター

**菊地 智子**

情報システムエンジニアとして25年勤務後、フリーランスのITアドバイザーとして活動している。

・ミラサボ専門家派遣事業 登録専門家  
・公益財団法人あきた企業活性化センター 専門家派遣事業登録専門家  
・秋田県商工会連合会エキスパートバンク 登録専門家  
・ペライチ公認秋田県代表サポーター

### テレワークへの期待

テレワークを導入することで、働く側・企業側それぞれにどんなメリットが期待できるでしょう。どれか一つでもメリットに感じることがあれば、それがテレワーク導入への入り口かもしれません。

#### 企業側

**リスクの分散** 非常事態において本社とは別の場所でも事業を継続することが見込める。

**離職の抑制** 特に女性の出産・育児、家族の転勤による離職を防ぐことが期待できる。

**新たな人材の確保** 通勤型では得られなかった多様な人材、優秀な人材の確保が見込める。

#### 働く側

**通勤時間削減** 時間の削減とともに負担が軽減。また住む地域の選択肢が広がる。

**作業の効率化** 効率化が進むことで業績への貢献も期待できる。

**プライベートとの両立** 育児や介護、配偶者の転勤などでも勤務できる可能性が広がる。

### テレワークのツール

テレワークを実現するためにはITツールが必須と言えます。中から代表的な3つのツールを紹介します。

#### Web会議ツール

Web会議ツールは、パソコン、スマホ、タブレットなどのデバイス越しに、顔を合わせながら複数の参加者との会議を実現します。ツールをダウンロードするだけで使えるようになる気軽さと、場所を選ばず会議やセミナーが開催できる便利さから急速に普及しています。無料プランから始められるものも多く、まずは使ってみて便利さを体感して欲しいツールです。

#### ビジネスチャット

業務利用を目的として開発された情報共有と円滑なコミュニケーションのためのツール。個人用SNSを使ったチャットと異なり、セキュリティのレベルが高く会社主体でコントロールできることがメリットでしょう。メールより即時性が高く、グループ間での情報共有に向いています。導入による業務効率化や生産性向上の事例も。

#### 勤怠管理ツール

テレワークでも出勤の時間管理が必要な場合もあるでしょう。社内の打刻システムに代わり、テレワークでこれを実現させる勤怠管理ツールを導入することで可能に。LINEアカウントと連携したツールも登場し、より容易に入力できるよう工夫もされています。また給与計算を連携させることで、それぞれの集計の手間を大幅に軽減できるメリットも期待できます。

### テレワークの課題

テレワークは時間や場所に縛られない柔軟な働き方を実現しますが、フリーランス等の自営業と、企業で導入するテレワークとでは「柔軟」の意味合いが違ってきます。企業で導入するテレワークでは働く側・雇用側のどちらか一方にだけ都合のいい仕組みにならない配慮が大切になります。そしてテレワーク導入はメリットばかりではありません。会社以外で仕事をするわけですから、下記のような課題が考えられます。

#### 情報漏洩対策

#### 勤務時間の管理

#### コミュニケーション不足

情報管理の新たなルール化と教育。企業側の勤務状況の確認が難しくなり、働く側はプライベートとの線引きが曖昧になりがちという問題も。顔を突き合わせていれば一言で済む話も、テレワークではそうはいきません。それでも、テレワークを導入することで得られる効果は、企業にとって魅力的だと感じませんか？

課題には必ず解決手段があります。是非テレワーク導入への一歩を踏み出してみてください！